



ID: 1272

科目名	健康スポーツ実習I(バスケットボール)【26年度生用】			コード			
英語表記							
担当教員名	岡部 祐介			年度	平成26年度		
基準年次	3年次	開講期	前期	単位数	1		
授業形態	実技	授業形式		履修形態	選択		
授業概要							
授業は、基本練習から、スキルの習得、習得したスキルを用いたプレイ、チームプレイのテクニックなど、ゲーム場面で必要な課題を設定し、試合を通して技術、指導力を高めていく。バスケットボールは、チームスポーツであるから、チームメイトとのコミュニケーションを大切にして取り組むことが大切である。学生各自は、バスケットボールを楽しむとともに指導者としての技術も身に付けることを目指してもらいたい。							
到達目標							
・バスケットボールの基本ルールやスキルを習得する。・安全にプレイする。・自分がプレイすることだけでなく、指導場面を想定し、将来的に指導ができるように							
授業計画							
第1回	オリエンテーション バスケットボールの基礎知識(講義)及びビデオ鑑賞						
第2回	試しのゲーム 授業内容の説明、自己紹介、試しのゲーム、チーム分け(グルーピング)						
第3回	バスケットボールの基礎技術①ドリブル、シュート(ランニングS)						
第4回	バスケットボールの基礎技術②ドリブル、シュート(ランニングS、ジャンプS)						
第5回	バスケットボールの基礎技術③パス、シュート(セットS)						
第6回	バスケットボールの基礎技術④パス+ラン、パス+ラン+シュート						
第7回	ディフェンスとオフェンス① マンツーマンディフェンスに対する攻撃						
第8回	ディフェンスとオフェンス② ゾーンディフェンスに対する攻撃						
第9回	ディフェンスとオフェンス③ ビデオをみながら効果的な攻撃や守備を考える						
第10回	リーグ戦① 試合						
第11回	リーグ戦② 試合						
第12回	リーグ戦③ 試合 学生たちでリーグ戦を運営できるようにする。						
第13回	リーグ戦④ 試合 試合方法や勝敗の決め方についても、学生で						
第14回	リーグ戦⑤ 試合 行えるように考えながらリーグ戦を行う。						
第15回	まとめ						
評価方法及び基準			評価項目と割合(%)				
実技が主体となる科目であるため、出席および授業態度を重視する。また、バスケットボールの基礎知識(ルール、技術、練習法)についても十分理解し、審判もできるようになることが望ましい。			出席	授業態度	レポート	期末試験	その他
				60	20	20	
授業外学習			テキスト、教材				
参考書			受講生へのメッセージ				
日本バスケットボール協会編(2002)『バスケットボール指導教本』、大修館書店阿部哲也・木葉一総著(2009)『バスケットボールのルールと審判法(2009)』、大修館書店							
キーワード							